



平成30年7月 静岡県水産技術研究所伊豆分場ニュース

## 田子と網代でマダイ沖出し、中間育成が始まる



↑西伊豆町田子での海上いけすへの収容作業

解説：中間育成：稚魚は始めに陸上の水槽で育てられますが、やがて成長や生残の点で陸上水槽では限界が生じます。マダイでは体長60mmでの放流が効果的という研究結果が得られており、ある時点からはこの大きさまで広い海上のいけすで育てられます。これを中間育成といいます。

静岡県内では、人工的に育てたマダイの稚魚を放流して、マダイの資源を増やす栽培漁業が毎年行われています。

伊豆地域では、稚魚を自然海域へ放流する大きさまで海上のいけすで育てる中間育成が、西伊豆町田子と熱海市網代で始まりました。6月12日に田子へ、6月14日には網代へ、沼津の温水利用研究センターで生産された稚魚が輸送され、稚魚を海上のいけすに収容する沖出し作業が行われました。収容された稚魚の尾数は、田子で約22万尾、網代で約41万尾です。

沖出し時点でのマダイ稚魚は、体長20mmほどですが、およそ40日の中間育成により体長60mm程度まで育てられた後、伊豆半島の各地に放流されます。放流は7月下旬～8月上旬に予定されています。

### 伊豆漁協水産まつりの開催

6月16日に伊豆漁協下田魚市場で「伊豆漁協水産まつり」が開催されました。サザエやキンメダイなど各支所特産の水産物や、Fish-1グランプリを受賞した“いか様丼”を求めて多くの人でにぎわいました。また、県漁青連が実施した釣りゲーム(写真)は大人気で、景品が1時間程度で釣り上げられてしまいました。



解説：県漁青連：静岡県漁業青年部連合会の略称。各地区の青年部が集まりイベント等で活動を行っている。

### サバソニ&アジロックチリモン教室

今年の「サバーソニック&アジロック」イベントがさわやかな風の吹く6月2日に伊東市なぎさ公園等で行われ、会場では学ぶ部門として「チリモン教室」で参加しました。今回は「地産地消」を目指し、伊東・宇佐美地区でシラス船曳網を操業している3隻にチリモンの提供を依頼し、地元サンプルを見てもらうことにしました。



開催には高校生のボランティアの協力を得ました。

解説：チリモン教室：しらす干しに含まれるシラス以外の魚などを探しながら、海の豊かさや生物の多様性を学ぶ活動で、全国で行われている。

**7月の予定** ●キンメダイ種苗生産研究のために親魚捕獲、船上授精を行います。 ●県調査船駿河丸によるキンメダイを食害するサメ捕獲調査が17～18日に行われます。 ●26日に伊豆漁協南伊豆青年部による小学生対象の水産教室、28日に伊豆漁協稲取支所による小中学生対象の磯の体験学習が行われます。 ●キンメダイ資源管理に関する漁業者検討会が開かれます。

連絡先：静岡県水産技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：[suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp) ホームページ：<http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>